

馬曲温泉 望郷の湯

Maguse Onsen Boukyounoyu
(長野県下高井郡木島平村)



外観

年始のスキー温泉取材の第2弾は、馬曲（まぐせ）温泉である。

本日は猛吹雪の中を、野沢温泉でスキーを楽しんだ。非圧雪バーンの朝一番の新雪の深さは30 cm以上。その下にはガリガリのコブが隠れており、何とも滑りにくい。午前中でめぼしいコースを滑り尽くし、びしょ濡れでくたくたになったため、スキーを切り上げて温泉取材となった。

通常なら、野沢温泉にある日帰り入浴施設に行くのであろうが、当愛好会では数年前に取材済みである。このため、我々取材班は、野沢温泉から約15 kmの山の中にある馬曲温泉へと向かった。

どか雪の今日、馬曲温泉までの道はどれほど過酷かと心配したが、全く問題がなかった。おそらく、道路に融雪装置が完備しているのであろう。

馬曲温泉の外観は、写真のごとく純和風である。入口にある券売機でチケットを購入し、受付でチケットにスタンプをもらい、建物の中へ入場する。名物の蕎麦やソフトクリームなどの軽食処を通過して、まずは内湯へ行く。

内湯は洗い場が5か所で（シャンプーとボディークリームは完備）、浴槽も定員が8人くらいとやや小さめ。サウナ、水風呂といったものは一切ない。内装は無垢の木で、浴槽も木製。湯温はやや熱めである。

馬曲温泉の真骨頂である露天風呂は、内湯とは別の場所にあるので、一旦服を着て移動する。建物の裏側へ回り、滑りそうな雪の階段を20段ほど降りると、露天風呂「望郷の湯」の建屋が見える。中に入ると脱衣室がある。

露天風呂は2段に分かれており、それぞれ定員が20人ほどだろうか。下段は岩風呂、上段が石貼だ。どちらからでも眺望は良好。今日はどか雪だったので、雪景色が最高である。湯温はややぬるめで、小屋組みはない。

取材班が馬曲温泉を訪れたのは15:00くらいと早めであった。しかし、温泉はすでにほぼ満員の状態。夕方16:00~18:00になると一体どれほどの混雑になるのであろうか。また、平面図を見る限り、内湯も露天風呂も女湯の方が男湯よりも大きいようである。

ちなみに馬曲温泉は弱アルカリ性低張性温泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

北信のスキー場を訪れたならば、ぜひ行ってほしい温泉、それが馬曲温泉である。和風の建物、露天風呂、雪景色の眺望、不便な山奥、そして蕎麦。馬曲温泉には日本の温泉に不可欠のものがすべてそろっている。

- **名称**：馬曲温泉 望郷の湯
- **所在地**：長野県下高井郡木島平村大字往郷 5567 番地 1
- **電話**：0269-82-4028
- **営業時間**：4月~11月は6:00~22:00（最終受付21:30）、12月~3月は7:00~21:00（最終受付20:30）
- **定休日**：第2水曜日（季節により変動）
- **通常入浴料**：大人500円、小学生200円、未就学児無料
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2014年1月2日（木）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部